

印傳を学ぼう! No.1

おなまえ

夏休み自由研究プロジェクト
印傳博物館



1 甲州印伝って何だろう?

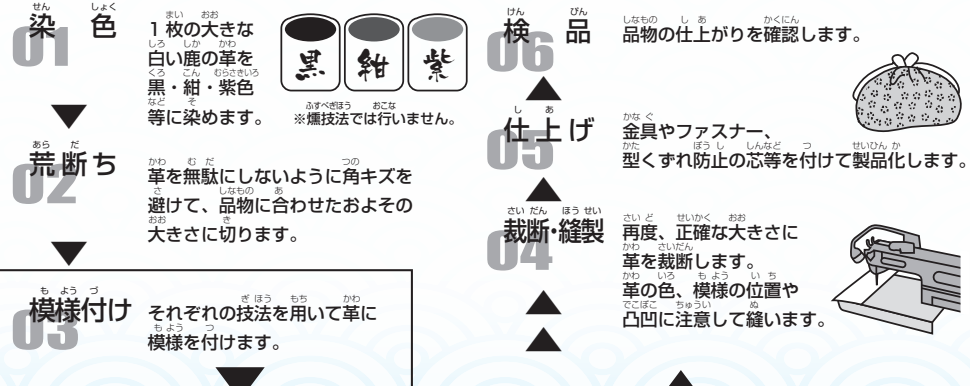
甲州印伝とは?

鹿の革に漆などで模様を付けた工芸品です。お財布やかばんを作っています。
山梨は自然が豊かで、鹿や漆もたくさんとれたことから産地となりました。
甲州印伝は経済産業大臣指定の伝統的工芸品です。



2 印傳の製造工程

製造工程 → → → → → → → 印傳の品物が出来るまで



印傳をつくる3つの技法

印傳屋 上原勇七とは?

印傳屋は現在、14代が上原勇七を名乗り1582年(天正10年)に創業したといわれています。創業当時は、鎧兜に使われる革を作っていました。

印傳博物館

印傳博物館では印傳作品・鹿革工芸品・漆工芸品を中心に、約1500点を収蔵し、テーマに合わせた展示を行っています。

燻技法

鹿革をタイコと呼ばれる筒に貼り、下にある電で炭を焚きます。出てくる白い煙で茶色の色や模様を出します。

漆付技法

鹿革の上にとんぼ等の模様が彫ってある型紙をのせます。その上からへらで漆をのせ、型紙から革をはがすと模様が付いています。

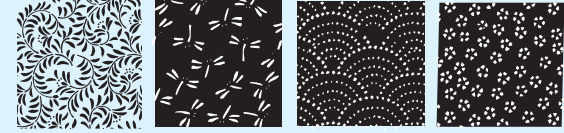
更紗技法

型紙を使って、一色から多色の模様を付けます。色ごとに型紙を替えて、顔料を乗せていきます。この作業を繰り返すことにより、華やかな色合いの模様となります。

3

日本の伝統模様

日本には四季があり、その変化を私たちは自然の風物で感じながら生活しています。模様はその美意識の表れであり、祈りや願いが込められているものがたくさんあります。

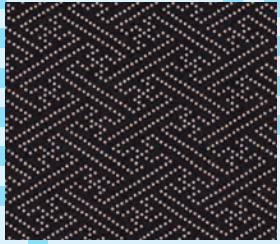


4

模様クイズ

次の模様の名前は何でしょう。下から選ぼう！（正解と思う赤丸をつないでみよう）

吉祥や正義や道徳を表す記（まんじ）の形をくずして連続させた模様です。



①



うろこもよう
鱗模様

生命力が強いつるが、広がっていく様子から、発展や繁栄の模様とされました。

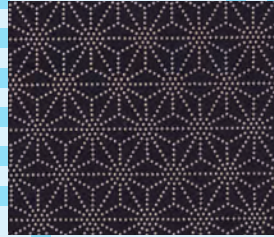


②



あさはもよう
麻の葉模様

麻のようにまっすぐすくすく育つようにと、赤ちゃんの着物に使いました。

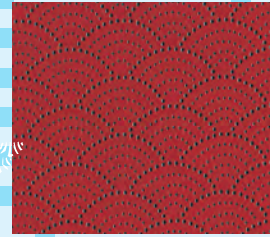


③



せいがいはもよう
青海波模様

おだやかな波の様子から平和な毎日が続くようにと願っています。

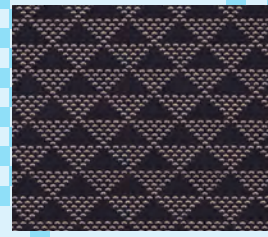


④



さやがたもよう
紗綾形模様

魚やヘビのうろこに見立てて身を守り、厄除けの意味で使われました。



⑤



からくさもよう
唐草模様

答え ①紗綾形模様 ②唐草模様 ③麻の葉模様 ④青海波模様 ⑤鱗模様

